

第53号

にゅうぜんまち 連合婦人会報

平成26年10月

入善町連合婦人会 広報委員会

発行責任者 小路みつ子

町長選挙・町議会補欠選挙の投票を呼びかけました 8月2日(土)



- ① 地域における政策方針決定過程への女性登用の促進。
 - ② 保育所では2人目の子供を出産し、育休を取ると入所している上の子は退所となります。退所しなくとも良いようにして欲しい。
 - ③ 入善町は子育て支援としてファミリーサポートセンターや補助金制度があることをもつとPRして欲しい。
 - ④ 災害発生時に備えて避難場所や避難道路の整備等の強化。
 - ⑤ 庁舎前の8号線沿いに建っている「前田常作」氏の「花・マンダラ塔」が色褪せているのできれいにしてほしい。
 - ⑥ 増えているゴミの減量を町民が自覚するよう指導して欲しい。
- まちづくりは仲間づくりである。安全で安心してより豊かに暮らすことのできる元気な「入善町づくり」を願います。

新町政がスタートして町民の皆さんのが期待も大きい中、私たち婦人会員も大いに期待しております。そこで入善を愛する女性の思いと期待を役員から出してみました。少しでも町政運営に反映させていただければと思います。

新町政に期待して

2015.3.15 開業

北陸新幹線

開業に向けて

六月、滑川市において二市一町による新川地区指導者研修会がありました。富山県新幹線開業対策担当者から、新幹線開業に向けて行っていることや、今後の在来線のあり方などについて講演をしていただいた後、各市町の魅力探しをしました。私たちは地域の「いいこと見つけ」をして、黒部宇奈月温泉駅からの観光客の集客に繋げていこうと、話し合いにも力が入りました。いろいろと出た中から主なものをお知らせします。

いいこと見つけ

- ・北アルプスを背にしたチユーリップ畑の美しさ
- ・舟見城から眺める扇状地の景観
- ・天然記念物の杉沢の沢杉
- ・水が豊富で飲料水としてとてもおいしい
- ・山あり海ありで山の幸海の幸が豊富
- ・黒部川扇状地で採れたコシヒカリ
- ・お盆の盆踊りや秋祭りの獅子舞
- ・舟見や入善の七夕祭り

婦人会としてできること

- ・地元（入善）の知識を高める場の提供
- ・地元をよく知る方による学習会
- ・自慢できる現地の視察
- ・町の特産品を生かした実技講習

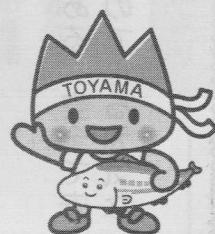
在来線の整備に に向けて

—あいの風とやま鉄道—



町民にとって日々の利用には欠かせない鉄道・駅ですが、新幹線開業とともに第三セクター（あいの風とやま鉄道）による運営となることに関する、従来どおりのサービスがなされるのか気がかりです。入善の玄関口となる当駅を大いに利用してもらうにはどうしたらよいのか、利用者として、また町民の一人として、しっかり考えていかなければならないことでしょう。そこで役員の意見を2～3紹介します。

- ・駅舎利用増の一案として、電車を利用しない人も駅へと足が向くよう、喫茶部や特産品販売所を設け交流の場とする。駅舎の賑わい創出、あえては町の賑わいに結びつくことと思う。
- ・名所、食事や喫茶処、宿泊所等の拡大マップの駅内掲示。
- ・トイレの改修と、トイレトペーパーの常設。
- ・エレベーターの設置。



エンパワーメント 地区活動紹介



夏の寄せ植え

飯野地区婦人会 中道 由美子



青木地区婦人会 秋田 マサ子

A black and white photograph showing a group of women in a gymnasium setting. In the foreground, a woman in a dark jacket is kneeling on the floor, demonstrating something to a group of women who are sitting or kneeling around her. In the background, there are rows of chairs and a person standing near a wall. The scene depicts a practical training exercise, likely for emergency response.

「心配蘇生・AED」

柵山地区婦人会 野田 依子

か
ご
作
り

富山県家庭教育セミナー 映写会「草原の椅子」

林小百合



ラテアート教室

新屋地区 早川 美知子

七月十六日 新屋公民館はコーヒーのいい香りにつつまれました。とみかわ珈琲の富川義隆氏とジャパンラテアートチャンピオンシップ○一三準優勝の館盛いすぎみなさんを講師に、ラーナーとしてアート教室を開催しました。コーヒーの上に牛クリーム等で絵や模様を書くものと考えていたのですが、いやいや奥深く難しいものでした。まずエスプレッソマシンで抽出した濃いエフプレッソに同じマシンでスチームしたミルクを注ぐ際の注ぎ方やミルクの状態によって様々な

反応が多くあつた。結核患者はまた出てきていることから、早期発見・治療につなげるため、この活動の継続の大切さをあらためて感じました。

サンウエル de フエスタに参加して

結核予防運動として、チラシ配布と複十字シール募金を行つた。「何にておうつこやるが」

も前向きに生きて行こうと思いました。

心は自信を持って書き込めることができました
心のどこかに傷を抱えながら出会った人々
がファンザに行き、前向きに生きて行くとい
う物語でした。美しく。優しく、純粹な話
にほっこりしながらも涙を流しました。私

原作者の宮本輝さんや佐藤浩一等の
キャラクターが気にはいったのでチケットを皆さ

映写会「草原の椅子」



ちよびり優雅なひとときになりまし

と評判の品です。常連さん
さんが来店されて、沢山
買って頂き、とても嬉しかったです。

ハイラップは無添加で環境により、昆布は北海道齒舞産で、とてもやわらかくおいしいと評判の品です。常軌

ア
ラ
カ
ル
ト

全国地域団体連絡協議会中部ブロック会議

「活力ある社会を築くために、いきいきとした地域活動を展開しよう」
～命を育むやさしい環境づくりをめざして～

入善町連合婦人会長 小路 みつ子

第一日目

福井県立恐竜博物館見学・講演

演題 「福井県と恐竜」

講師 福井県立恐竜博物館 特別館長 東洋一 氏

恐竜の種類や特徴、福井県で発掘された恐竜について愛情いっぱいに話された。四十体以上の恐竜全身骨格や千数百の標本が展示されたすばらしい施設を見学、太古の歴史に夢をはせた。

第二日目

開会セレモニー・ハーブ演奏

講演 「食品ロスを出さない工夫と食料自給率向上に向けて」

講師 フードアクリションニッポン推進本部 事務局 田中 慶一 氏

我が国の食品ロスは年間五百～八百トン、食品ロスを減らすこと、それが食料自給率向上につながる。皆で取り組む必要性を強調。

講演 「育み、はぐくまれ
～命の大切さをもう一度～」

講師 ことは語り 木村 まさ子 氏

「いただきます」の気持ちについて話され、いただく私自身が元気でいること、あるがままの自分を肯定しようと呼びかけられた。
二日間温くもてなしていただいた福井県の皆様に感謝申し上げます。

歯舞早煮昆布 出し昆布

ー 肉昆布巻きー

（作り方）

1 昆布は水に浸しておく。

干びようは塩でよくもみ、洗つて熱湯に

3 2 豚肉は指の太さぐらいの棒状に切る。

1の昆布を広げ、2を中心巻き、2力を

所を干びようで縛り、適量の砂糖・みり

ん・酒・しょうゆ・水で30分～1時間

ほど煮て出来上がり。

※ 「細切り昆布の和風サラダ」も添えて

五月 県婦人会総会並びに大会
六月 女性学級・ウィメンズメンズセミナー開級
入善女性団体連絡会総会

七月 男女共同参画推進合同学習会
クリーン入善7.1.2.9作戦協力

八月 明るい選挙推進で投票率アップ運動に協力
ふるさと七夕祭り竹飾り・街流し競演会参加

家庭教育セミナー映写会
サンウェル de フェスタ2014

結核予防推進事業・複十字シール運動
九月 町生涯学習推進大会・男女共同参画フォーラム

入善町社会福祉大会

四月～九月

今年度行事だより



レシピ紹介

昆布の得意料理募集

次号に掲載します

あとがき

ーだし作りー

容器に出し昆布を水につけておく。
冷蔵庫に入れておくと日持ちする。
煮物、味噌汁、カレー等いろいろな
物に利用できる。

広島の土砂災害、突然
の御嶽山の噴火、そして
デング熱、エボラ出血熱
等々驚くことばかりです。
そんな中、新米や秋の
旬な果物等を味わえるこ
とに感謝して、一日一日
を大切に生きて生きたい
と思う今日この頃です。

